

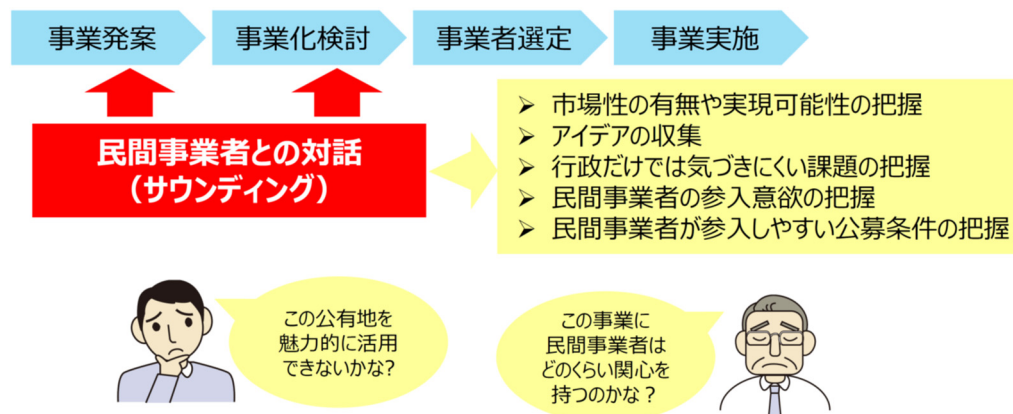
旧吉野川津慈地区河川整備事業地の民間活力の導入に係るサウンディング調査結果

旧吉野川津慈地区河川整備事業地については、これまでに、鳴門地区生息環境づくりワーキングで、旧吉野川津慈地区の湿地が担う役割や、基本的な構造条件を整理してきました。また、利用者を想定した場合の便利施設の抽出を行ってきました。しかし、湿地の管理を行える主体が未確定であることから、管理運営に関する具体の整備や施設管理手法を定めるには至っていませんでした。

そのため、「旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング」を設置し、同事業地の管理運営のあり方を検討しました。検討にあたっては、民間事業者から広く意見や提案を聴取することを目的にサウンディング調査を実施しました。

◇サウンディングとは

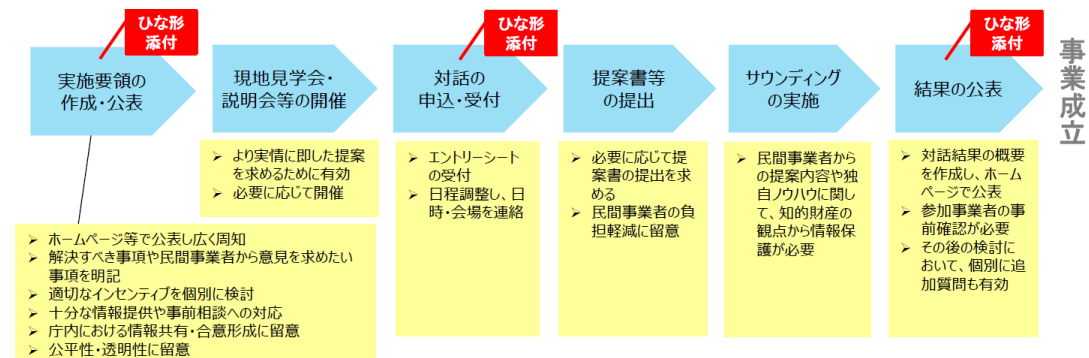
「事業発案」段階や「事業化検討」段階において、事業に対して民間事業者と直接対話することを通して、様々なアイデアや意見を把握する調査のことを言います。



出典：地方公共団体のサウンディング型市場調査の手引き（概要）

今回、旧吉野川津慈地区河川整備事業地において実施するサウンディング型市場調査は、「事業発案」段階での調査であり、自由にアイデアを出していただくことを目的とします。今回の調査の結果を踏まえて、「事業化検討」段階に進みます。

◇サウンディング実施の流れとポイント



出典：地方公共団体のサウンディング型市場調査の手引き（概要）

(1) サウンディング調査の実施

対象地を旧吉野川津慈地区河川整備事業地として、民間事業者（法人又は法人のグループ等）からの参加を募りました。調査内容は、「民間事業者の管理・運営への参画を実現する魅力ある利活用方策」とし、(1)津慈地区河川整備事業地の利活用方策、(2)民間事業者が実施する管理・運営の内容、(3)民間事業者のメリットの3項目について、参加を希望する民間事業者が参加申込書に記載し、提出する形としました。

スケジュール

- ・2023年6月20日（火）：サウンディング調査の事前告知
- ・2023年6月30日（金）：資料の公表、参加募集開始
- ・2023年8月10日（木）：参加申込の締切
- ・2023年10月17日（火）：個別対話の実施

参加募集の周知

◇記者発表、新聞掲載

周知期間を設けるため、記者発表は告知、募集開始の2段階で行いました。告知にあたっては事業全体の説明資料を作成、公表しました。記者発表は四国地方整備局及び徳島河川国道事務所から関係記者クラブへの情報提供を行うとともに、旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキングメンバーのホームページでの公開を依頼しました。また、一部の報道機関については、個別対応を実施しました。

1) 記者発表等経緯

2023年6月20日 国土交通省、鳴門市、藍住町の連名で、サウンディング調査実施を告知（第1回記者発表）、建通新聞への掲載依頼

2023年6月30日 サウンディング調査の募集開始（第2回記者発表）

2) 記者発表情報提供

①四国地方整備局

- ・高松経済記者クラブ（18報道機関が加盟）

朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、山陽新聞、四国新聞、愛媛新聞、高知新聞、徳島新聞、共同通信、時事通信、NHK、RSK、RNC、KSB、TSC、OHK、日刊工業新聞

- ・専門紙（3紙）

日刊建設工業新聞、日刊建設通信新聞、建通新聞

②徳島河川国道事務所

- ・徳島県政記者クラブ（9報道機関が加盟）

徳島新聞社、NHK、四国放送、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、共同通信社、時事通信社

- ・徳島県民放記者クラブ（3報道機関が加盟）

朝日放送徳島支局、毎日放送徳島支局、関西テレビ放送徳島支局

3) 新聞掲載状況

下記の新聞に記事が掲載されました。なお、建通新聞は電子版にも記事が掲載されました。

- ・日刊建設工業新聞 2023年6月22日発行
- ・建通新聞 2023年6月27日発行
- ・徳島新聞 2023年8月4日発行

4) ウェブサイトでの情報発信提供

下記のウェブサイトで情報を公開しました。

- ・四国地方整備局
- ・徳島河川国道事務所
- ・徳島県
- ・鳴門市
- ・藍住町
- ・特定非営利活動法人 とくしまコウノトリ基金

◇徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会、鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバーを通じた情報提供依頼

記者発表のほか、徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会委員及び鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバーを通じて関心のある民間企業等へ周知を依頼しました。このうち、広範囲への周知が期待できる、観光、金融機関へは個別説明及び周知依頼を実施しました。

1) 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会委員や鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバーへの情報提供の依頼状況

実施日	対象
2023年6月16日	徳島大正銀行 法人推進部
	阿波銀行 営業推進部、経営統括部
2023年6月21日	徳島県観光協会
	イーストとくしま観光推進機構
2023年6月22日	徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会委員及び鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバーへの記者発表（第1回）の情報提供及び周知依頼（メール、郵送）
2023年7月3日	徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会委員及び鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバーへの記者発表（第2回）の情報提供及び周知依頼（メール、郵送）

2) 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会委員、鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバーを通じた情報提供状況

実施者	情報提供先
阿波銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人せとうち観光推進機構 ・南海電鉄
徳島県観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県観光協会の賛助会員 約300団体 ※賛助会員の業種は、輸送業・宿泊業・旅行業・観光レクリエーション・物産販売業・飲食業など
イーストとくしま観光推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年7月27日に開催された「プロジェクト説明会『とくしまコウノトリの里（仮）』」 ・株式会社エアトラベル徳島

(2) サウンディング調査の実施結果

1社から参加があり、WEBによる個別対話を実施しました。

※本調査への参加応募者の情報は非公開としているため、応募者数のみの報告となります。

(3) 応募者からの提案事項

管理運営への資金や人材の提供

・旧吉野川津慈地区河川整備事業地の管理運営に係る直接的な資金や人材の提供に関する提案はありませんでした。

普及啓発・情報発信

・コウノトリに関連する取組の周知を目的に、東京の店舗や東京・大阪でのマルシェや販売イベント等での商品販売、パネル等の展示の設置を行ってはどうかとの提案がありました。

※参加事業者のノウハウ・アイデアの保護に配慮したうえで、結果概要を報告することになっているため、概要の報告となります。

(4) 今後の対応

旧吉野川津慈地区河川整備事業地の湿地創出のイメージができた時点で、サウンディング調査を再度実施したいと考えています。また、本事業地の管理運営にあたって、企業からの寄付や協賛を募っていきたいと考えています。

普及啓発・情報発信に関する提案の具体化に向け、地域振興や普及啓発を検討している「鳴門地区地域・人づくりワーキング」で継続して意見交換を行いたいと考えています。